

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆個人向け国債、25年度の発行額6.1兆円 金利上昇で19年ぶり高水準に

・財務省は個人向け国債の2月募集(3月発行)分が8743億円だったと公表した。25年度の販売額は合計6兆1526億円と前年度から36.9%増加し、19年ぶりの高水準となった。金利上昇から、安全資産を求める個人らの国債シフトが進んだ。個人向け国債は個人のみが購入でき、市場金利に基づき適用利率を決める。

◆労働時間「増やしたい」6社に1社 働き方改革、裁量制拡大が論点

・厚生労働省は働き方改革に関する企業・労働者への調査結果を発表した。企業の6社に1社ほどが労働時間を「増やしたい」と答えた。高市首相が掲げる労働時間規制の緩和を巡っては裁量労働制の対象業務拡大が論点となる。2019年施行の働き方改革関連法で残業は最大で月平均80時間、年間720時間に抑えることなどを義務付けた。

◆「先生足りない」自治体が9割 新卒頼み限界、兼業・移住支援を模索

・全国の自治体の9割で公立学校の教員が不足していることが文部科学省の2025年度調査で分かった。不足人数は計4317人で、4年前の1.7倍に膨れ上がった。大量退職に伴い新卒など若手の採用を拡大した結果、産休・育休の取得者が増えたことが一因。同省は不足地域へのベテラン教員の移住を支援するなど、新卒以外の確保強化を検討。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆厚労省、ファン付き作業服への補助拡大を検討 全年齢対象に

・厚生労働省は「第4回職場における熱中症防止対策に係る検討会」の中で、熱中症防止のための報告書案およびガイドライン案を提示。2025年6月に改正された「労働安全衛生規則」に基づく重篤化防止措置の徹底や、熱中症の罹患リスクを低下させる予防策、熱中症対策機器(ファン付き作業服など)への補助金の対象拡大などを盛り込んだ。

◆YKKAP、「ペロブスカイト」一体型の建材 2027年度に生産開始へ

・YKKAPは薄くて曲がる「ペロブスカイト」などの次世代太陽電池と一体になった建材を2027年度から生産すると発表。現在、札幌市などで発電効率や断熱性能の実証実験をしている。検証結果を踏まえ、設置方法や使用する太陽電池を検討し、26年度末から営業を始める。設置する建材は内窓などを想定する。

◆曲がる太陽電池、鉄道や道路などインフラ設置実証支援へ 経産省

・経済産業省は薄くて曲がるペロブスカイト太陽電池について、鉄道や道路など公共インフラへの導入実証を支援する。2026年度にも補助金の公募を始める。既存インフラの屋根などを活用する。開発や実証にかかる費用を補助する。道路の防音壁やパーキングエリア、鉄道駅や空港、港湾施設の屋根などへの設置を念頭に置く。

《 注目商品 》

■パロマ ウルトラファインバブル給湯器にオートタイプ追加

・ウルトラファインバブル発生装置を内蔵した給湯器「BRIGHTS GRAND(ブライツグランド)」シリーズに「オートタイプ」を追加。直径1 μ m未満の泡・ウルトラファインバブル発生で、メイク汚れの除去、肌の水分量の向上、あたたかさの持続、排水管内の汚れや水アカの蓄積抑制。



■リンナイ、ガス温水式衣類乾燥機「RDO」シリーズを今秋発売

・ガス温水式衣類乾燥機「RDO」シリーズを2026年秋に発売。「RDO」シリーズはガス給湯暖房機(熱源機)の温水を温風に変えてドラム内の衣類を乾燥させる方式を採用。機器本体には、水蒸気を排出する排湿管と、熱源機との間で温水を循環させる温水配管を接続。



■パテ埋め不要防火区画貫通部材、空調でも対応可能に

・積水化学工業、パテ埋め不要防火区画貫通措置部材「フィブロックNEO」、すでに認定を取得している電気用途に加え、新たに空調用途でも使用できるよう国土交通大臣認定を申請。2026年春にも取得できる予定。

